

事務事業名		学校施設外壁改修事業			会計	一般会計					
H27担当課等名		学校教育課		H27係等名	学校施設係		H26係等名	学校施設係			
基本計画上の位置づけ		政策	2	地育力によるこころ豊かな人づくり		事業種別	政策	開始	23	終了	
		施策	22	義務教育の充実							
目的	対象(誰・何を)	老朽化した小中学校の建物(校舎、体育館)の外壁				対象指標	指標名及び単位		26年度数値		
	意図(どういう状態にするか)	建物(校舎、体育館)の耐用年数を延ばし安全性、利便性、衛生性を確保する。					小中学校数		28		
	向上させたい上位施策の成果指標	良好な環境で授業を受けることができる児童生徒数									
目標	種別	指標名及び単位				26年度計画	26年度実績	27年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)	
	成果指標	実施済小中学校数				5	5	6	9		
	定性目標										
事業概要	<p>○小中学校の平成23年度建築定期報告及び学校別外壁調査によって改修が必要と指摘された箇所の修繕をする。 ○外壁調査は平成23年度に座光寺小、川路小、上村小、飯田西中を行い、平成24年度は、浜井場小学校の外壁調査を行った。毎年2校程度の調査を行い平成34年度に全ての学校の外壁を改修予定。その後も継続して調査していき必要に応じて補修する。 ※国の補助(学校施設環境改善交付金(防災機能強化)で実施する。(補助率;1/3) ○外壁調査は建築基準法で定められ、定期検査は3年に1回実施し、10年に1度は、調査をしなければならない。 ○平成22年度に外壁調査計画を策定した。 ※耐震補強をしてある施設は補強から10年の後半へ、平成57年以前に建築された施設は、優先的に調整をした計画である。 ○調査により改修が必要な施設の外壁を調査実施後の翌翌年度に改修工事を実施する計画 ○国の補助(学校施設環境改善交付金(防災機能強化)で実施する。1/3補助率 23年度に補助メニューに加わった。</p>										
26年度事業内容	事業内容				名称			活動指標			
	1 外壁改修校は、浜井場小学校1校 2 工事内容については、外壁の浮きや剥離部分を補修し、外壁塗装を行う 3 国庫補助事業の申請交付事務				浜井場小学校外壁改修工事			1校			
事業コスト		25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足					
事業費計(千円)①		89,649	21,600	21,589	24,600	(国)学校施設環境改善交付金(1/3)					
国庫支出金		27,587	6,600	7,267	7,410	(地)全国防災(充当率100%)					
県支出金											
起債		41,300	15,000	14,300	17,100						
その他											
一般財源		20,762	0	22	90						
人件費計(千円)②		644		644							
正規職員所要時間		180		180							
臨時職員所要時間											
総事業費①+②		90,293	21,600	22,233	24,600						
事業内容・目標達成状況の振り返り	浜井場小の外壁改修を行った。クラックや外壁の浮きなどを除去し補修後に塗装した、外壁工事費については手の届く範囲は、打診法により、届かないところは、赤外線による調査で算出したが足場を組んで実際に調査したところ想定以上に悪い箇所が多かった。今後の工事費用の算出には打診面積を増やすことにより算出し、費用の把握に努めたい。										
改革改善の考え方	①問題点	28校を順番に行っても3校ずつでも10年かかるが、耐震化工事を行っていない新耐震基準の建物の外壁の更新を先に行っていく。									
	②改革提案	老朽化の状況を見ながら、順次進めていきたい。									